



中高生のお子さんを持つ保護者のための インターネットセーフティガイド



- 1 チェックリスト 
- 2 小中高生のインターネット利用率 
- 3 中高生の利用実態 
- 4 中高生の特徴とサービスの特徴 
- 5 男女別トラブル傾向 
- 6 中高生が利用する際の問題点 
- 7 インターネットは開かれた 
現実社会の一部
- 8 フィルタリングとは? 
- 9 家庭でのフィルタリングの役割 
- 10 書き込みができるサイトと 
フィルタリング
- 11 親子の会話のヒント 
- 12 まとめ 
- 13 参考情報 

以下の質問にいくつ **マル** を付けられますか？

マルの数 **0**

- お子さんのクラス内の携帯電話の保有率を知っている
- 日に何通ぐらい友人とメール交換しているか把握している
- 一か月の利用料金をだいたい把握している
- よく利用しているサービス名や運営社名を二つ以上言える
- ホームページ開設など情報発信経験の有無を把握している
- 有害サイトへの遭遇経験について把握している
- 主にどんな目的で携帯電話を利用しているか把握している
- お子さんの携帯電話のフィルタリング機能を理解している

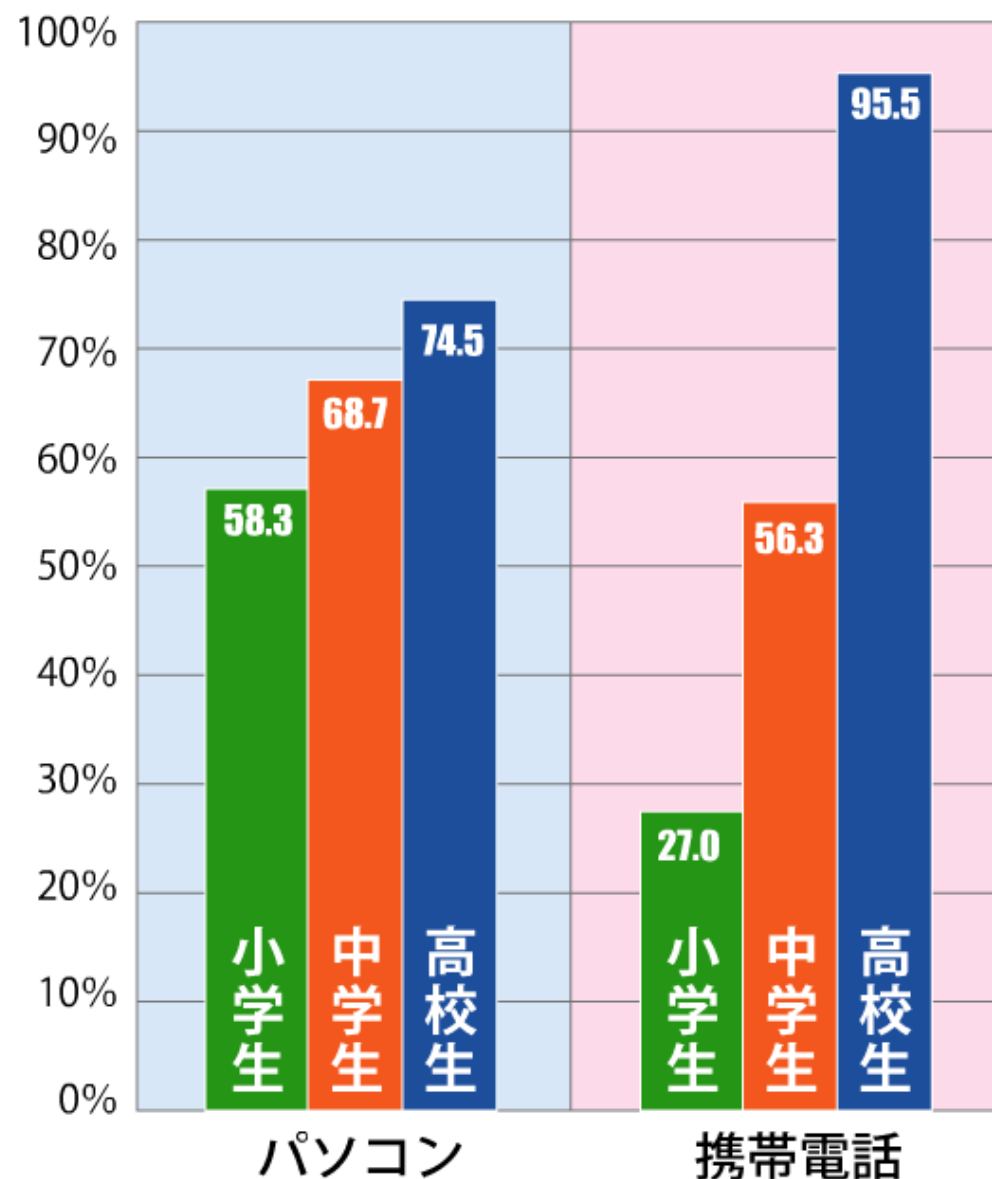
2 小中高生のインターネット利用率

子どもたちのインターネット利用について考える研究会

子どものインターネット利用率

	パソコン	携帯電話
小学生	58.3%	27.0%
中学生	68.7%	56.3%
高校生	74.5%	95.5%

内閣府 第5回情報化社会と青少年に関する意識調査より



3 中高生の利用実態

- インターネットやメールは携帯電話からの利用が多い
- 携帯では、メールやブログ、SNS などの閲覧・更新を行うことが多い
- 友だちとのやり取りは通話よりメールが多い



4 中高生の特徴とサービスの特徴

生徒の特徴

暇つぶしをしたい


友だちの多さを自慢したい


異性への興味関心が高い


背伸びをして度胸を示したい

お金がない

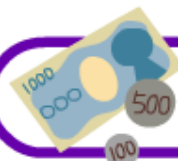
サービスの特徴

 ゲーム性がある

 未知の友だちと交流できる

 異性と交流できる

 危険な香りがする

 無料である、お金が稼げる




男子生徒



- 腕試しやイタズラ心によるネット犯罪 
- ネット上での誇示誇張発言によるトラブル 
- サイト上での詐欺被害 

女子生徒



- 生命・身体にかかわる被害 
- コンサートチケットやファッショングッズに関する売買トラブル 
- ネット上でのコミュニケーショントラブル 



生命・性的被害

出会い系 家出掲示板

プロフィール  ゲーム・アバター 

大人に誘い出されたり、援助交際のきっかけとなる「出会い」要素が高く生命・身体にかかわる重大事件に遭う可能性が高い。



精神的な被害

掲示板・ブログ 学校裏サイト 

健全な交流の場となっているものも多く、一概に否定できないが、いじめの場面に発展変容する場合もあり一定の関与が必要。



金銭面の被害

不当請求 架空請求

遭遇頻度は高いが無視すればよく、友人間で回避方法を教え合うことも多いが、一定の注意が必要。



疲労

使い過ぎ

生活の乱れ、集中力欠如を引き起こすが、ネット特有の問題ではなく、家庭のルールで対処。

仲間内の世界ではありません

インターネット上での出来事は世界中の人が見えています 

匿名世界ではありません

インターネットは現実世界よりも追跡性が高いのです 

仮想世界ではありません

インターネットは法の支配もおよぶ、現実社会の一部です 



従来型コミュニケーション媒体

現在のコミュニケーション媒体 ➡

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

Profil Card

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

なまえ：みか
住所：東京都
Tel：0123456789
長所：★ポジティブ
趣味：人間観察



メッセージ
みんな、よろしく～!



紙のサイン帳やプロフィールカード

「相手の顔が見える」「手渡しで広がる」

閉じる ✕

現在のコミュニケーション媒体

インターネット上のプロフィールサイト



「自覚のないまま世界中に公開」

インターネットの仕組み

- サイトを見たりクリックしたりした場合、日時や内容、送受信されたデータの中身などが記録される(ログ)。
- ログを元に、プロバイダをたどれば、書き込んだ人を割り出すことができる。

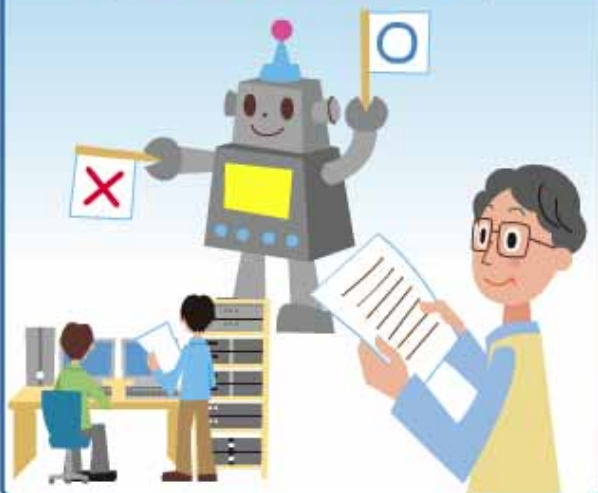


基本的な対策

子どもとの
コミュニケーション(会話)



技術的な手当て
(フィルタリング)



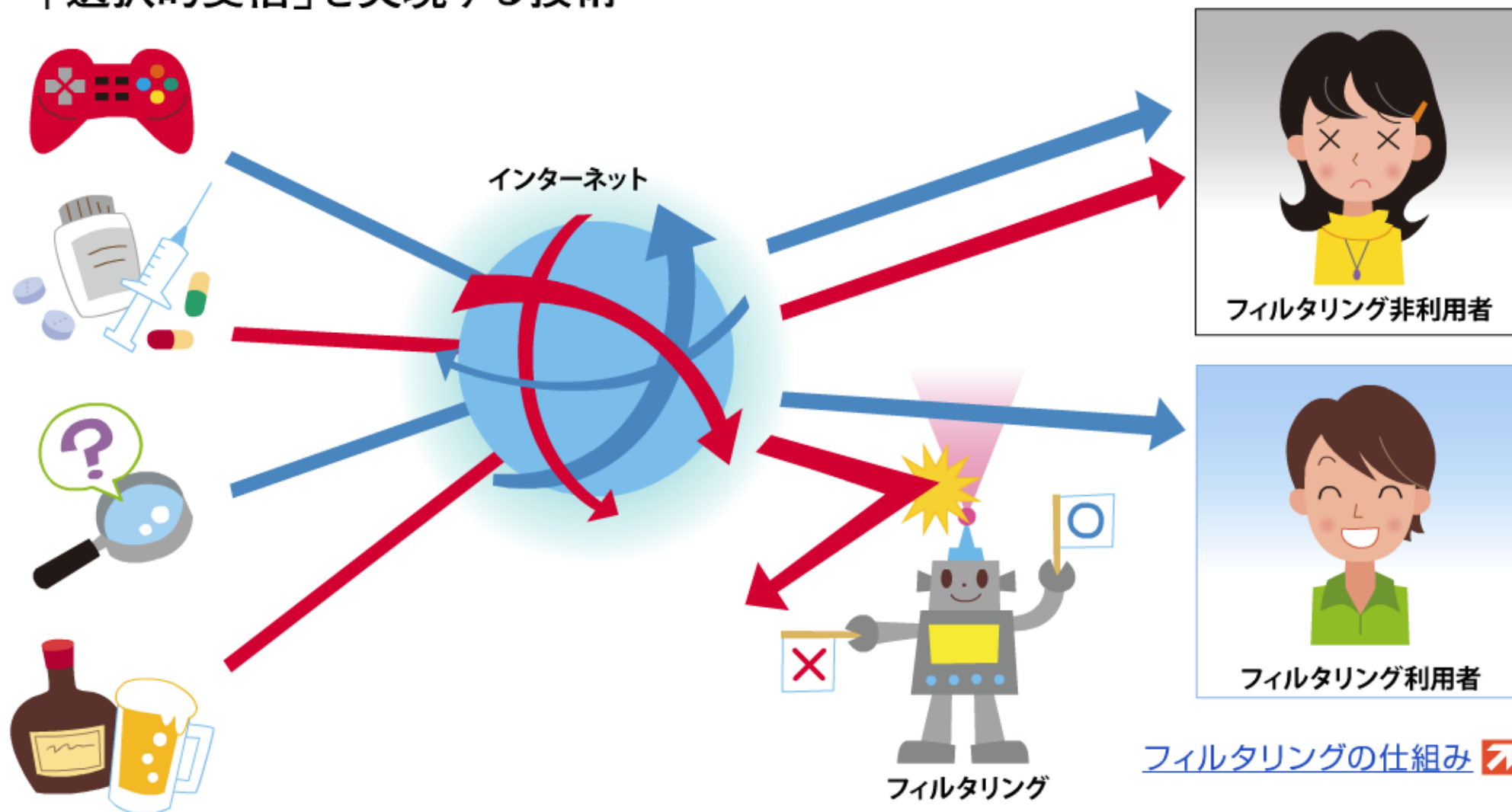
保護者による
チェック(見守り)



子どもを被害者にも
加害者にもしないために

8 フィルタリングとは?

- インターネットのさまざまな情報のうち、不必要なものを除いた「選択的受信」を実現する技術

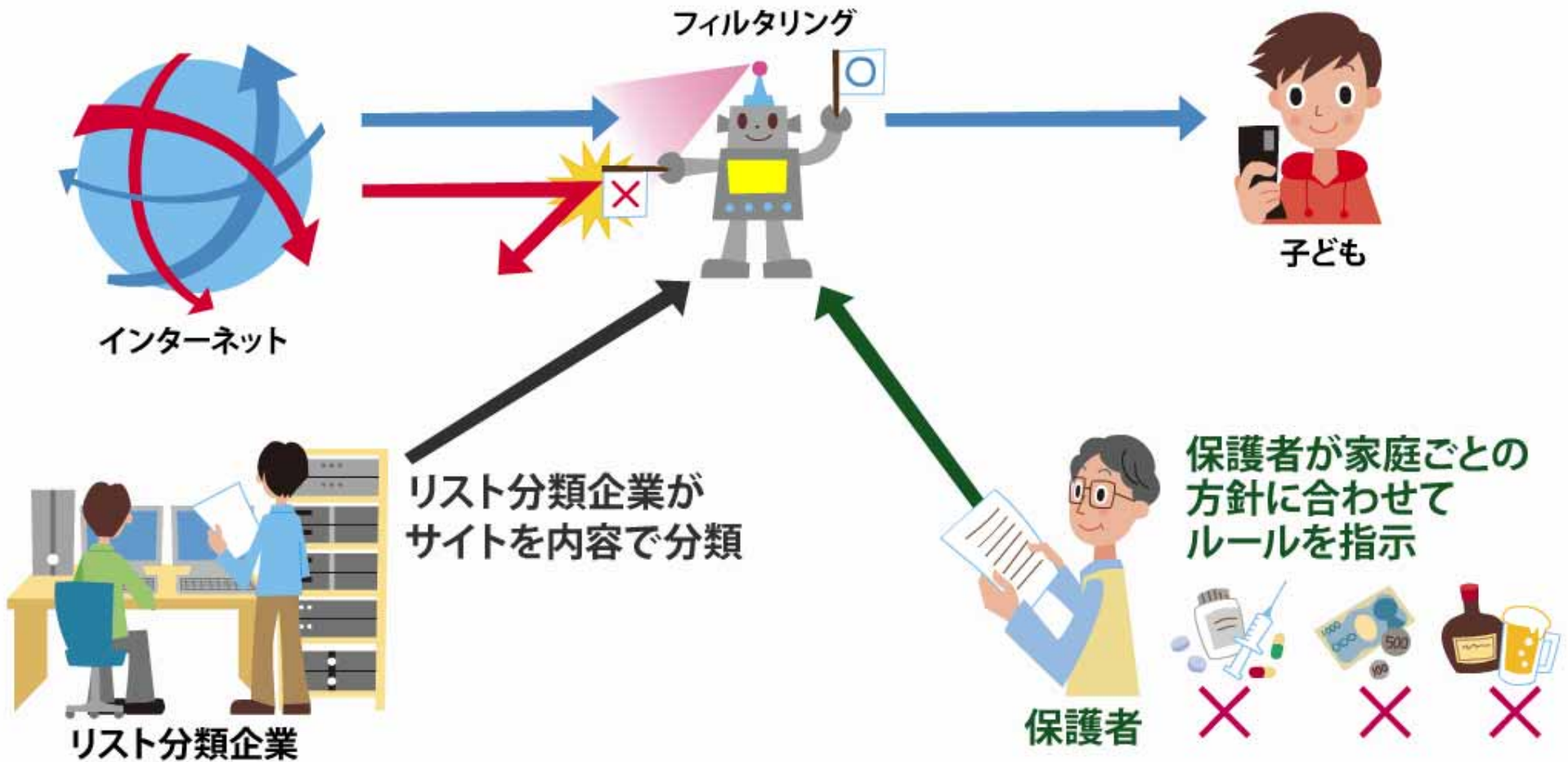


8 フィルタリングとは？

閉じる ✕

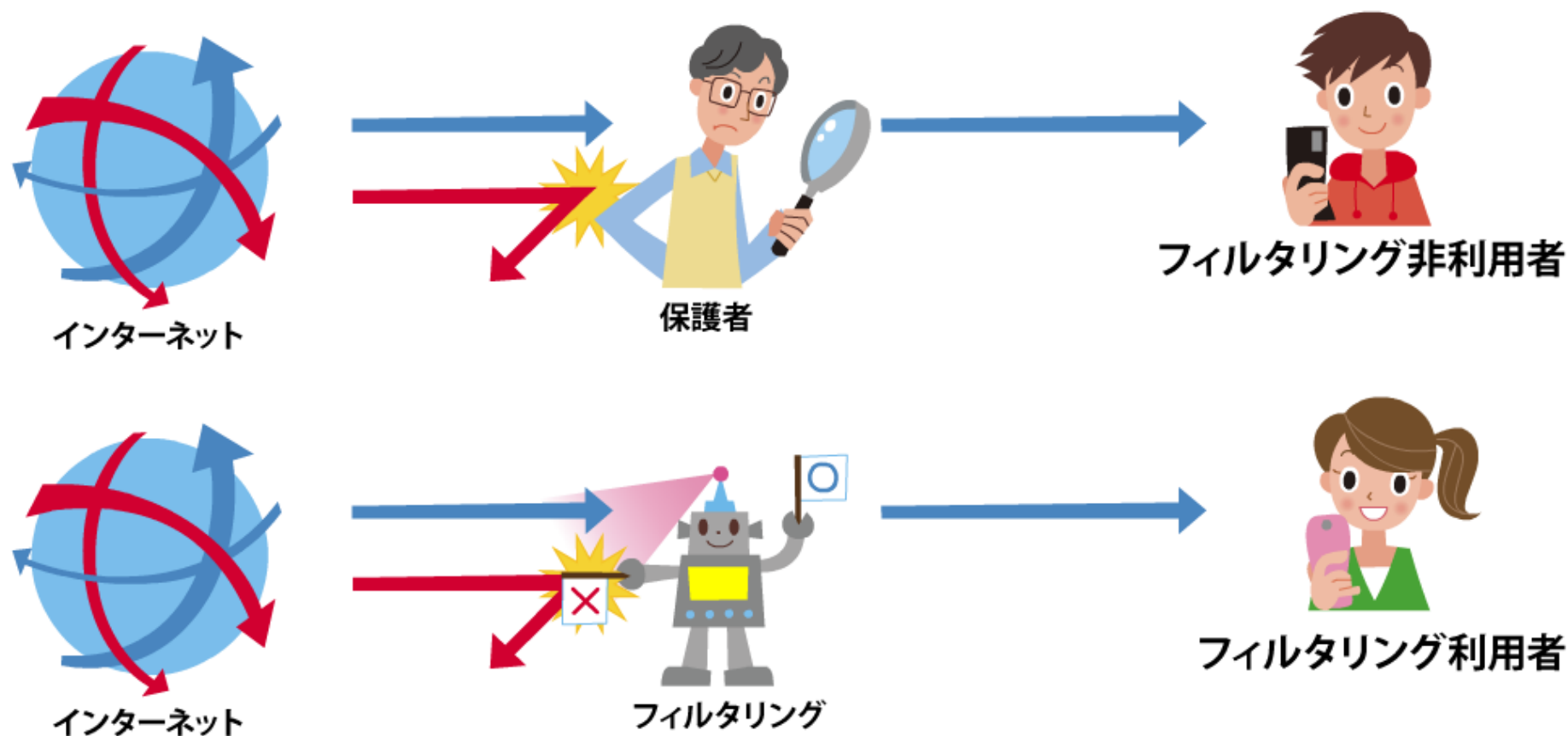
フィルタリングの仕組み

■ 保護者が定めたルールに従って、特定分野(カテゴリ)サイトの閲覧を規制



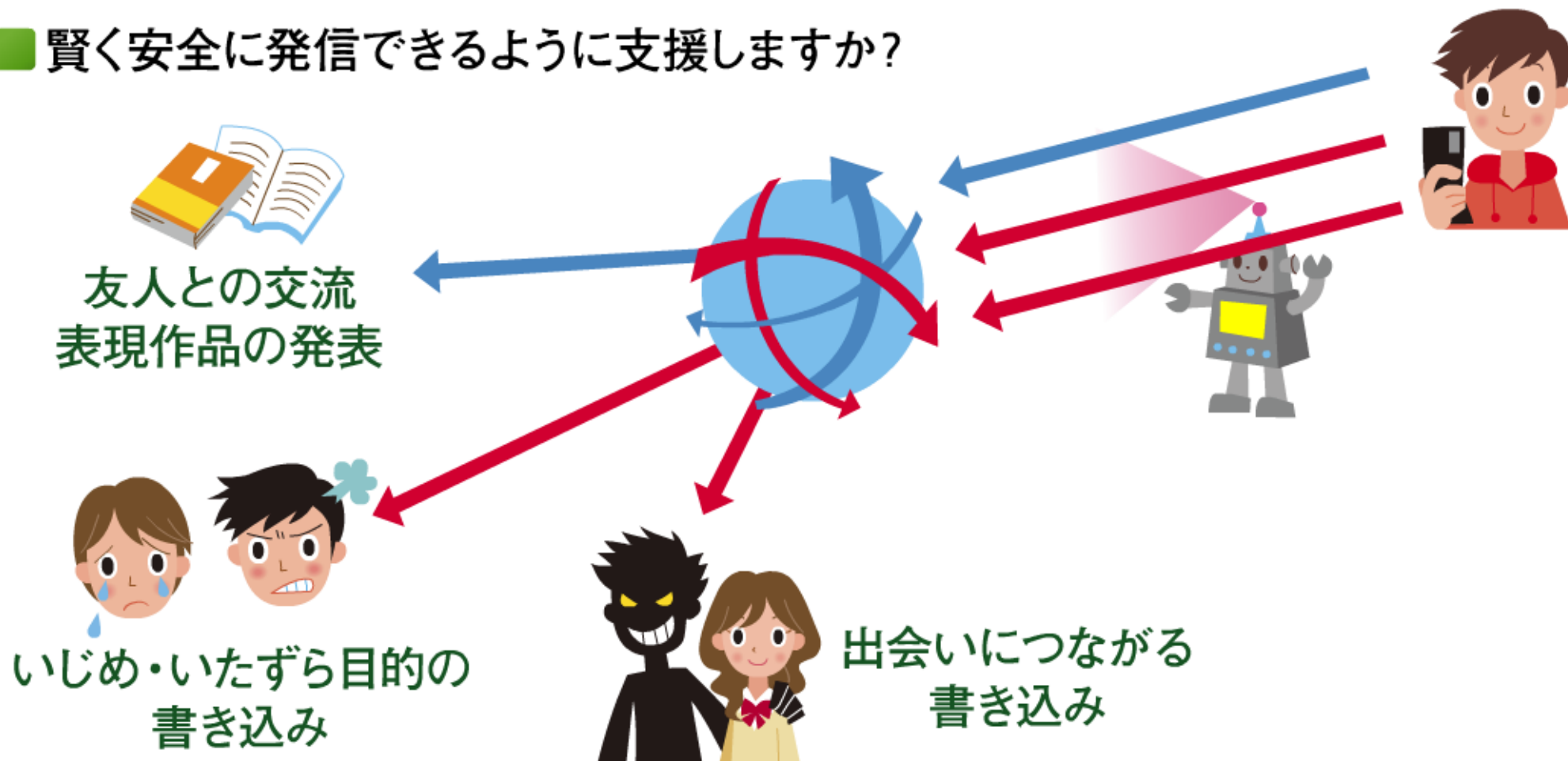
9 家庭でのフィルタリングの役割

- 保護者が定めたルールに従って、保護者の不在時に代わりに務めるもの
- フィルタリングソフトに頼るだけではなく、情報を判別する力や、対応能力（リテラシー）を育てることが重要



フィルタリングで発信のコントロールはできません

- すべての発信利用型サイトの利用を禁止しますか？
- 賢く安全に発信できるように支援しますか？



- ご家庭によって子どもとの関係には差異がありますので、一律的な対策は存在しません。
- まずは、自分が興味をもっていることをお子さんにはっきりと伝え、この話題で会話することを心がけましょう。お子さんも聞いてほしいのかもしれませんが。
- 唐突に、悪いことをしていないか詮索したり、利用を禁止したりしては、子どもは隠れて利用するようになってしまいますので、避けましょう。



- 会話の過程で、普段お子さんが利用しているサイトを少しずつ把握・理解していきましょう。

実際に利用しているサービスについて尋ねてみてください。可能であれば、操作しているところと一緒に見せてもらいましょう。隠そうとするなど、申し出に対するお子さんの反応に注意しましょう。

- ある程度お子さんとの会話が弾んできたら、やり取りの相手を教えてもらいましょう。

誰とどんなやりとりがあるのか同様に尋ね、可能であれば、内容も見せてもらいましょう。その際には、顔を知らない相手とのやり取りがあるかどうかを中心に確認してください。



■ インターネットの先には人がいること意識付けさせてください

インターネットも現実世界であることを気づかせてあげてください。
何でも許される仮想世界ではありません。

■ インターネットは追跡性が高い事を教えてください

インターネットは決して匿名性の高い場所ではありません。むしろ追跡性は高いものです。
「違法なことを行くと確実に捕まる」という事実を教えてください。

■ 問題が起きたらすぐに自分に相談するよう伝えてください

叱られることを必要以上に恐れるあまり、すぐに相談できず、
事態が深刻化してから保護者が気付くといったパターンに陥りがちです。
日頃から相談しやすい関係を構築しておきましょう。



■ プロフィールサイトに登録してみましょう

お子さんが利用しているプロフィールサイトに、教わりながら参加してみましょう。まずは教えるというよりも、自分も楽しむつもりで登録してください。

■ 1週間使ってみましょう

移動中や家事の合間など、手が空いたときに少しずつでもいいので、まずはのぞいてみてください。実際に使ってみると、安全な使い方についてリアリティをもってお子さんと話せるはずですよ。

■ 話し合ってみましょう

ご自身で使ってみての感想を交え、お子さんが個人情報を入力していないかなど、お子さんのプロフィールや利用中に気になったページを題材に話をしてみてください。

- 学校の先生には、利用料金や利用しているサービスなど、インターネットの利用状況について確認することはできません。監護権のある保護者しかできないのです。
- もしお子さんが、何か問題に巻き込まれたとき、無条件に味方でいてあげられるのは保護者をおいていません。
- いろいろな人や物事とかかわりながら、子どもは成長していきます。インターネットを生きた教材ととらえ、その利用を通して人や社会との関わり方について学ぶことが重要です。



子どもたちのインターネット利用について考える研究会

公式サイト <http://www.child-safenet.jp>

